



LOVE

あにまる

DOJIN  
R18  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止





『あは♥やっぱりせんぱいのペロペロは凄いな♥  
ひと舐めする度ソクソクって背筋が震えて…♥  
精神支配でせんぱいにも私の感覚が伝わって…  
そこでさらに先輩の鼓動が高鳴るのがわたしにも  
わかるんだ♥』

まっ

「う…ぐぐ…メ…ア…  
また…こ…んな…」

突然メアに体育倉庫室に呼び出された俺は  
言われるがまま向かったんだけど  
室内に入った途端彼女に再び精神支配され  
身体を自由を奪われてしまった  
そしてメアは俺の身体を操って  
彼女の全身舐め回すよう仕向けてきたんだ



『はひゃあああああつ♡』

『ふえっ?!』

ええ?

『やあ』

『やあ』  
『ごやごこれえええ……♡♡』

『ひえんぱ……い——』

『ここ——おまた……ペロペロされるの  
すこいよあ……ああ……ふうふううんっ♡』

はひゃあ

はひゃあ

はひゃあ

はひゃあ

うわあああああつ

俺——遂に女の子の——

メアのおま——おまおま——

おまんこ舐めちまつてるうううっ

ううう……こんな……

こんな綺麗なびんく色おお……

しかもすげえ熱くて……

ギユウギユウ舌押し出してくるかと

思ったらヌルヌルがどんどん溢れてきて

膣内に吸い込まれて……

俺の舌がヒタを擦るたびにメアに電流が

走ったみたいな快感が走ってるのがわかる……



「はあ…はあ…ん………  
それじゃせんばいのも  
してあげるね」

ほっ

「のほっ  
せんばいの…前に裸で  
見た時みたいになってる」

ギョッ

ギョッ

ギョッ

「う…く…メア…が…  
興奮するような声…出す…から…」

あれ…  
俺…ナニイッて…

「へえ—  
わたしの声で興奮しちゃったんだ…  
ほんと…見れば見るほど  
けだものみたい…  
ふっつけどこれを舐めたら  
せんばいも…さっきのわたしみたいにな  
気持よくなるんだよね」  
それじゃ…してあげるね」





あーん  
あーん

『んん』  
んちゅーん  
『んん…んん…んん…んん』  
ちゅるじゅっ  
ちゅっ♡  
ぬりゅん♡

『う…ん…ん』  
あ…うあ…メア…すご…  
ぬるぬる…して…るのに  
舌…の…ぬりぬりが—』

『ちゅるじゅっ  
ちゅっ♡  
ぬりゅん♡』  
『くちゅーん』

れろお

『んん♡  
かたはるのんわんわんわん♡  
ちゅっ♡ちゅるん♡  
『んん…んん…ちゅるんわんわん』  
ちゅるん♡  
『ちゅるんわんわんわんわんわんわん…  
わたんせんとんせんとんせんとんせんとんわん  
したんせんとんわん♡』

『う…あああ…』  
だめ…だ  
気持ちよさで考えが—  
射精…射精が…したい…

じゅぽっじゅぽっじゅぽっ  
びじゅーちゅねんっびじゅっ  
ぢゅねんぢゅねんっ

「うーあぁっ  
くうううーっ  
もう…ダメ…だぁあー出るーッ」

『あぶっ?!  
んんんんんん  
んちゅーんんんんんん  
んんんんんんんんんんんん  
んんんんんんんんんんんん』

『はっはぁ…はぁ…ん…っ  
…はっはっはっ  
ん…<…これが…けほっ精液なんだ  
はぁ…はぁ…  
なんか変な味だね…くすっ  
でも嫌いじゃないよ…せんばいの味♡』

「はぁ…はぁ…メ…ア……」

『え…まだ治まらないって？  
それならまたしてあげ…あつそうだ！  
それならセックスしようよ♥  
わたしせんぱいとの子作りも  
興味あるからね♥』

せ…つくす…？  
「くうう…それはさす…がに  
ます…」

あま…  
あま…  
あま…

『びびり…それじゃ  
せんぱいの知識を元に  
動いて貰おうかな』

う…くうっ  
そんなことまで出来るのか…  
あう…身体が…勝手に…

へん…  
へえ—そこにそれ入れちゃうんだ  
ふしぎ…なんだがドキドキするよ♥  
これもせんぱいと感覚が繋がってる  
からなのかな…  
それともわたし自身の鼓動…？』

あま…

『ふあ…♥  
せんぱいが…入って…くる♥』

「おれは……  
おれは……おれは……  
おれは……おれは……  
おれは……おれは……  
おれは……おれは……」

「おれは……  
おれは……おれは……  
おれは……おれは……  
おれは……おれは……  
おれは……おれは……」

うーくううっ  
こんなこと……しちやダメなのに……っ  
悔しいけど……ほんとに……気持ちいい……っ

「あっ——はっ——はっ——はあうっ♡  
これ——ほんとに……  
これがセックス——あっ♡  
気持ちよくなること以外……  
かんがえられなく——ふうんっ♡」

「う——うっ♡」

「んっ——せんぱい♡  
せんぱいも……あんっ♡  
自分で腰振ってきてる——よう♡  
精液出したい……の……？  
わたしの子宮にせんぱいの子供  
植え付けたいんだ——んっ♡」

「うう——  
ムア——これ以上動かされたら、  
ほんとに出ちまう——っっ」

『のほは——は——あぁっ♡  
いよいよ——先輩の子供植えつけて♡  
わたしの子宮を先輩の精液飲ませて——っ♡♡  
んく——はっ わたし……も……っ  
わたしもまだ——はっ——あ……はぁぁっ♡』





「アッ」が——「アッ」  
キラキラ——♡  
は：ああ——あ——♡

「ダメだ——うううう」  
メ：ア——も……  
射精る——う……  
うああああっ」

『ふあ——  
ああああああっ♡♡♡♡』

『Ehno——♡  
せんぱいの精液……  
わたくしはEhnoの精液を  
当たり前に使っています♡♡♡』

「はあ……はあ……あ……♡  
は……あ……♡♡

セックス……か……  
こんな……刺激的……だった……なんて……♡  
ん……は……あ……あ……す……て……き……♡♡」

あ……あ……あ……♡

あ……あ……あ……♡

「ん……♡  
これ……は……何……気……持……ち……な……ら……ん……か……  
……ま……だ……し……ま……さ……る……の……か……♡♡」

あ……あ……あ……♡





# あとがき

はい、皆様こんにちは七鍵智志でございます！  
この度はこちらの同人誌をお手に取っていただきありがとうございます。

さて、今回はToLOVEるダークネスのメア本となりました。  
いやおいしいですね、ダークネス!(;∇)=3  
矢吹大先生は本当エロのなんたるかがにわかってらっしゃるw

実はキャラクターとしては僕モモと古手川が一番好きなんですけど  
今回はあえてメアにしました。  
というもメアはダークネスにとってキーになる人物な割に  
あまりにもメアの本を見ないのでなんか逆に描きたくなつたんです。  
エロ的要素としてもメアは想像を掻き立てるモノが多かつたですし  
何よいやつばメアもカワイイじゃないですか(∇\*)ホッ  
本編で操られながらもメアの身体をペロペロしまくるトを見た時は  
ちよつとそこ変わって下さいと真顔でお願いするレベルでしたね!  
そんな願望から今回の本になつたわけなんですけど皆様如何でしたでしょうか?  
こういう形式でも皆様に受け入れられていることを祈りつつ  
作品に関してのあとがきはこれにて×させていただきます。

そして、ここからはイベントに関してですが…  
モモモモサンク!久しぶりの参加で新刊出せるかなあと不安だつたんですけど  
なんとか出せましたね(;´ω`):

さすがに内容はイラストにセリフ入れる形式になりましたが  
個人的にはこういうのも好きなので作つて楽しかつたです。  
作つて思いましたがやつぱり今後のサンク!とかの中規模イベントでは  
こういう形式が多くなると思います。  
その中でなるべく皆様のヒドーに響く作品を作つていこうかと思つてますので  
是非是非今後共宜しくお願い致します!

それでは今回はこの辺で失礼させて頂こうと思います。  
ばいばいーいシ



## 奥付

発行 : 七つの鍵穴  
発行人 : 七鍵智志  
発行日 : 2012/10/28  
印刷 : ねこのしっぽ

mail : [codemasa7@hotmail.com](mailto:codemasa7@hotmail.com)  
HP : <http://nanakagidensetu7.sakura.ne.jp/>  
twitter : [nanakagisatosi](https://twitter.com/nanakagisatosi)

※無断転載・転売はおやめ下さい





NANATSUNOKAGIANA

---